

県統計協会長から感謝状

田口二三雄さん



町統計調査協議会長の田口二三雄さん（大輪）に、このほど群馬

県統計協会長の知事から感謝状が贈られました。

田口さんは、平成5年4月から10年余の永年にわたり統計調査員として、国勢調査をはじめ各種統計調査の実施に当たり、その重要性を認識し統計業務の推進に尽力されており、その功績が認められたものです。

非行防止の標語・ポスターコンクール

館林警察署管内の平成15年度非行防止の標語・ポスターコンクールで、本町からは次のかたがたが入賞されました。（敬称略）

標語の部
特選

襟川直人（明中3）

『君のこと 心配している 人がいる』
審査員特別賞

阿部捺美（西小4）

『もついちど 自分の心に きいてみよう』

藤野祐希（明中1）

『一度だけ』 軽い気持ちに 落とし穴』

ポスターの部
準特選

岡安 柁（東小3）

「はたちの献血」

キャンペーン

県では、血液が特に不足する1、2月に若者層などを対象として呼びかける「はたちの献血」キャンペーンを実施します。

献血場所・太田献血ルーム

「太田YOU愛」太田市飯塚町

・移動採血車 県内各地を巡回

時間 午前10時～午後1時、

午後2時～5時30分

問い合わせ 県庁薬務課 ☎0

27(226)2662

好きなときに、好きなものを食べることでできる現代の日本。しかし、その一方で、栄養バランスの乱れや弧食などによる食品の偏りから、肥満などの生活習慣病が若い世代にも広まりつつあります。食生活は、私たちの生活の基礎になるもの。自分の健康を守る食生活を送るためには、栄養バランスや安全な食品などをさまざまな観点から考え、毎日の「食」を選ぶ力を育てる「食育」が大切です。

「食」をめぐる問題

生活習慣病の広まりは、特定の食品ばかり食べるなどの食生活の乱れによる栄養の偏りが、その原因の一つと言われています。また、家族のあり方やライフスタイルの変化などにより、食事や調理を通じて伝えられてきた豊かな食文化も失われつつあります。さらに、私たち消費者が、食品に関する知識や情報を持ち、安全・安心な食品を自ら選ぶことが必要となっています。

栄養だけではない「食」

自分の食に目を向け、栄養ハ

今日から始める家庭の食育

ランスや食生活全体をコントロールしていくために必要な知識や技術を持ち、それを実践していくこと。食について自分で考える習慣を身につけ、一人でも食生活を組み立てることができるよう力を養うこと。それが「食育」です。

今日から始める「食育」

食育は、家庭での食への姿勢が重要なポイントです。一つずつ、できそうなことから始めてはいかがでしょうか。そして、家族ができるだけ一緒に食事をとることも大切なことの一つ。また、地域や家庭の食文化を世代から世代に伝えるきっかけになります。こうした毎日のちょっとした気づきがい、家族の健康と豊かな食生活を育む「食育」につながります。

